



Title	編集後記
Citation	北海道大学考古学研究室研究紀要, 2, 95-95
Issue Date	2022-12-06
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/87950
Type	bulletin (other)
File Information	08_2_P95.pdf



[Instructions for use](#)

編集後記

研究紀要第 2 号をお届けします。本年度から北大大学院医学研究院の中沢祐一さんに考古学研究室の教員として大学院教育に参画していただいております。考古学特別実習「文化資源としての埋蔵文化財」を担当します。

本誌初掲載となる中沢は名刺代わりに「黒曜石水和層法」についての論考です。執筆陣の取り扱っているテーマは前号に引き続くもので、動物考古学の江田は中世日本の「ニフトリ」、高倉は旧石器の北海道特有の「尖頭器」についての論考です。高瀬は「石器の使用痕分析」と弥生農耕、國木田はもう一足の草鞋である「縄文のトチノキ利用」についての論考です。小杉は自ら「道具とことばの考古学」としているシリーズの一環です。

夏季の実習授業での発掘調査（豊浦町礼文華遺跡）が一段落してからの編集となり、この季節での仕上がりとなりました。札幌では初雪はありましたが未だ根雪にならずです。本号が根雪となり、本誌が若い学生諸氏の本大学院進学への動機付けの一つになることをささやかに期待しております。 (小杉)